



# KUMAMOTO GREENPIC '86

特集 行ってみたいグリーンピック'86

## おもしろそう！たのしみ！ 待ち遠しいな、グリーンピック。

今年八月、緑と水の博覧会「くまもとグリーンピック'86」が開催されます。森の都といわれる熊本市の江津湖畔で開かれるこの催し、画期的なイベントとなりそうです。緑は、安らぎのある生活環境をかもしだしてくれず。都市の緑、住宅の緑、商工業地の緑、そして山林の緑、いろんな緑がありますが、これらの緑を、それぞれの環境に応じて、「守り」「つくり」「育て」ていくこと、それは、今私たちが、真剣に考えなければならないことではないでしょうか。全県公園化構想「くまもと緑の三倍増計画」がスタートしたのもこのような趣旨からです。グリーンピック'86は、そうした緑の環境づくりをみんなで考える機会であり、そして、全国へ向けて緑潤う熊本のすばらしさをPRする絶好のチャンスなのです。



## グリーンピックって、 なあに？

「緑の国体」ともいわれるこのイベント、「全国都市緑化フェア」というのが正式な名称です。熊本での開催は、初の地方都市開催で、第四回目。この緑化フェア、昭和五十七年に都市計画中央審議会が都市緑化を積極的に進めていこうと提言したことからはじまりました。全国各地持ちまわりで開催し、各地域の人たちに、都市の緑化をはじめ「緑」にじかに触れ、そして考えていただくというわけです。こうして開催されている全国都市緑化フェアのテーマは、「窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう」というもの。これまでにたくさんの方の参加があり、生活に楽しさと潤いをもたらす、国民の祭典として親しまれてきました。今回熊本で開催される「くまもとグリーンピック'86」は、そうした中で開催される「第四回全国都市緑化フェア」の愛称です。

公園で緑につつまれた時のやすらぎはなんともいえません。緑は、炭酸ガスを吸収し、酸素を生み出します。また、森林内には、樹木から発散されたファイトンチッドが漂っていて、これを自然のまま浴びると、病原菌の成長をおさえ健康に良いといわれています。このように、緑は、人間のからだに非常に良い効果をもたらします。しかも、緑を見ると目

## グリーンピックな どんな グリーンピックなの？



がやすまり、気持ちも落ち着くなど、その精神的効用も見逃せません。この緑を、十年後には三倍に増やそうとするのが、「緑の三倍増計画」水・緑・光の生活空間をめざして」なのです。緑は文化のパロメーターともいわれています。私たちの手で、緑豊かな、潤いのある、美しい街「くまもと」をつくり、守っていききたいのです。「緑の三倍増計画」が打ち出された昨年は、そのオープニングを飾るにふさわしいビッグイベント「全国植樹祭」が阿蘇みんなの森で開催されました。天皇陛下をお迎えしてこのイベントで、緑を育てていこうという気運が県民みんなの中に盛り上がりしました。今年のグリーンピック'86では、緑と人間のコミュニケーションが図られるように工夫されています。特に、未来社会を担う子供たちが、楽しみながら緑や自然についての理解を深めることができるイベントとして期待が高まっています。熊本の清らかな水と緑の象徴である水前寺江津湖公園で開催されるこのグリーンピック'86に、一人でも多くの皆さんに参加いただいで、緑と水の大切さとそしてすばらしさを感じていただきたいのです。



## グリーンピックは いつあるの？

会期は、今年八月一日(金)から十月十二日(日)までの七十三日間です。会場は水前寺江津湖公園内にあり、日本一広い球場として知られる藤崎台球場の十倍の広さ。また七・七ヘクタールの駐車場も併設されています。昨年十二月十九日には、前売券の発売も始まり、三月三十一日までにお買い求めになつていただいた方には、グアム旅行などの景品もついています。グリーンピックで二重の夢がふくらみそうです。会場の準備も、急ピッチで工事が進められており、オープンの日が心待ちにされています。また、シンボルマーク・マスコットマークの募集や、ミスグリーンフェア五人を選ぶなど、県民みんなに親しまれるイベントをめざしています。シンボルマークは、指で二葉をつまむ様子をあらわしたもので、人と緑の調和をイメージした「マスコットマーク」は、緑の葉をモチーフにしたもので、愛称は「グリーンちゃん」です。また、ミスグリーンフェアの五人は、百八十二人の中から選出されたキャンペーンガールで、様々な公式行事や催事などに参加してもらいます。

